

2011 年度 JEEF 「アジア環境リーダーネットワーク」プログラム

環境分野をリードする学生／若手社会人募集！

■ アジア圏における環境リーダーネットワークに参加したい人必見！

公益社団法人日本環境教育フォーラムでは、未来の環境リーダーを目指すアジアの大学生、大学院生、若手社会人（勤続3年未満）を対象とした「アジア環境リーダーネットワーク」プログラムの参加者を募集します。

◆ 本年度のプログラム

● 2011年8月中旬（場所：シンガポール） 4泊5日：

計7カ国（日本、インドネシア、シンガポール、タイ、フィリピン、マレーシア、ベトナム）の参加者とのワークショップ、ディスカッション、スタディーツアー

● 2011年9月から12月（場所：各国）：

環境プロジェクトを実施

● 2012年2月中旬（場所：シンガポール） 3泊4日：

成果報告会

◆ こんな人に来てほしい！

- 将来、企業やNGOなどにおいて、環境面におけるリーダーとしてのキャリアを目指す人
- アジアにおけるグローバルな環境リーダーネットワークに参加し、人脈を広げたい人
- 自ら主体的に環境に関するプロジェクトを企画・実行できる人
- 環境面における国際協力に興味のある人

◆ 昨年度参加者の声

- 今回のプログラムで環境に対するモチベーションが大きく変わりました。参加前は環境を守るために何ができるのか力不足を感じていましたが、ミーティングを通じて環境に貢献している多くの人に出会い、アセアン地域での友情を築くことができました。今後は、私が周りの人に対して、環境に配慮した生き方を提唱していきたいと思えます。（日本からの参加者）
- 第一回ミーティングでは、多くの知識を得ました。ミーティングを通じて、アジアの若者のネットワークを築き、それぞれの国で起きている環境問題について互いにシェアすることが出来ました。そして何よりも、私たちアジアの若者が、環境問題解決に向けた創造的なアイデアを共有する機会となりました。（インドネシアからの参加者）
- プログラムの内容は思慮深く構成されており、異文化間で学び合うだけでなく、ベトナムでの体験を楽しむこともできました！（シンガポールからの参加者）

募集要項（概要）

※注：応募前に、下記リンクからより詳細な活動内容を含む英語版の応募要項も必ずお読みください。

<http://www.jeef.or.jp/english/asia.html>

対象	日本在住の大学生、大学院生、若手社会人（勤続3年未満） 応募時に30歳未満の方 ※国籍問わず
スケジュール	◆第1回ミーティング（シンガポール） 2011年8月9日（火）－8月13日（土） ◆プロジェクト実施 2011年9月－12月（自身で実行） ※各国、優秀案1案に対して10万円を助成する予定。（一定の基準を満たす場合のみ） ◆第2回ミーティング（シンガポール） 2012年2月10日（金）－2月13日（月）予定 ※当プログラム参加にあたり、所属組織に証明書類の提出が必要な場合は、公益社団法人日本環境教育フォーラムにてプログラム参加証明を発行いたします。
募集人数	2名
参加費	無料（成田－シンガポールの往復航空券と現地での宿泊・活動費を主催者が負担します）
応募資格	◆将来にわたり環境分野におけるリーダーとしてのキャリアを目指していること ◆自ら主体的にネットワークに参加し、プロジェクトを企画・実行できること ◆シンガポールで開催される2回のミーティングに参加できること ◆9月－12月にプロジェクトを実行する意思があること ◆英語で環境問題についてプレゼンテーション、ディスカッションが行えること ◆プロジェクト期間中、最低月1回、ブログなどの執筆協力ができること
応募方法	ウェブサイトから応募用紙をダウンロードして必要事項を記入の上、下記連絡先までEメールにて送付してください。（応募用紙ダウンロード： http://www.jeef.or.jp/asialeader ） ※応募書類は返却いたしませんので、あらかじめご了承ください。
応募締め切り	2011年6月6日（月）必着
お問い合わせ お申込先	asialeader@jeef.or.jp 公益社団法人日本環境教育フォーラム（担当：塚原、今泉） TEL：03-3350-6770 FAX：03-3350-7818
選考基準	基礎的な環境知識と英語力を有し、自ら実行したい環境活動案を持っていること。 環境活動案は、目的の正当性、実現可能性、持続可能性、社会に対する影響度により評価します。
電話面接	書類選考を通過した方には、メール連絡後、電話面接（日・英）をさせていただきます。
選考結果	2011年6月30日（水）迄に、応募者全員にメールでお知らせいたします。
注意事項	◆一団体から一名のみ選出します。 ◆他の応募者と同じ活動案を提出した人は選考の対象になりません。 ◆活動費の助成は活動以外の目的に使用することはできません。また、第二回のミーティング前に、日本環境教育フォーラムに損益計算書を提出して頂きます。 活動費を受け取る参加者は、JEEF 及びアドバイザー、他の参加者からのアドバイスをもとに、プランを改良することが求められます。 ◆研究プロジェクトは対象になりません。

この事業は、財団法人地球産業文化研究所の愛・地球博成果継承発展助成事業により実施しています。

